



風っ子・環境キャンペーン

群馬県

年輪の謎に迫る 丸太切りとバウムクーヘン

森であそぼう森で学ぼう教室



12家族41人が参加して、丸太切りと、バウムクーヘン作りに挑戦。年輪の謎が解けました

群馬県では、「森で作ろう 家族の思い出」をテーマに、渋川市の憩の森で「森であそぼう森で学ぼう教室」を開いていきます。森で過ごす楽しさや気持ち良さを家族みんなで感じ、森林への関心と理解を深めてほしいというのがねら

いです。

10月20日は「バウムクーヘンを作ろう」のテーマで、丸太切りとバウムクーヘン作りで年輪の謎に迫りました。

早速、丸太切りに挑戦。のこぎりを引くたびに、さわやかな木の香りがしてきます。切り落としした断面には、年輪

がくっきりと浮かび上がっています。年輪が表すのは、木の成長。色の薄いところは、ぐんぐん成長する春から夏にかけて、色の濃いところは成長がゆっくりになる夏から秋にかけて作られます。この成長をくり返すことで年輪ができることを教わりました。

午後は、バウムクーヘン作り。アルミホイルを巻いた棒に生地をかけて回しながら焼き、焼き色がついたらまた生地をかけて焼くことを何度もくり返すうちに、直径15センチほどのバウムクーヘンが出来上がりました。包丁で切ってみると、午前中にのこぎりで切った丸太の断面そっくり。バウムクーヘンの1層が木の成長の1年にあたること、年



のこぎりを上手に使って丸太を切る参加者

を重ねることで年輪ができることが分かりました。深町颯太さん（太田・旭小6年）は「生地を何層にもすることで丸太のようなバウムクーヘンが焼けました」と、上岡咲良さん（沼田・白沢小6年）は「一日、森の中で過ごして気持ち良かったし、楽しかった」と笑顔で話していました。

風っ子・環境キャンペーンを応援します

群馬県緑化推進課

前橋市大手町1-1-1
TEL:027-226-3272

「森で作ろう 家族の思い出」をテーマに「森であそぼう森で学ぼう教室」を開催中。くわしくはホームページ。
<http://www.pref.gunma.jp/01/e6100066.html> (平成30年度親子森であそぼう森で学ぼう教室)



バウムはドイツ語で木、クーヘンはお菓子という意味なんだって

群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」
許諾第29-110989号

身近にできるエコ活動

調べてみよう! エコマーク

みんなが使っている文房具には、エコマークが付いていますか? エコマークって何? どんなものがエコマークなのだろう? どうしてエコなのだろう? 調べてみるとおもしろいし、夏休みの自由研究にもなるよ。エコマークから環境のことを考えてみよう!

群馬県環境アドバイザー 奈賀由香子